

管理者コンソール

Bitwarden 公開 API

ヘルプセンターで表示:

<https://bitwarden.com/help/public-api/>

Bitwarden 公開 API

Bitwarden公開APIは、メンバー、コレクション、グループ、イベントログ、およびポリシーの管理のためのツールセットを組織に提供します。

💡 Tip

このAPIは、個々の保管庫アイテムの管理を許可していません。これがあなたが達成する必要があることであれば、代わりに**保管庫管理API**を使用してください。

公開 APIは、予測可能なリソース指向のURLを持つRESTful APIであり、JSON形式のリクエストボディを受け入れ、JSON形式のレスポンスを返し、標準的なHTTPレスポンスコード、認証、および動詞を使用します。

公開 APIはOpenAPI Specification (OAS3) と互換性があり、準拠したswagger.json定義ファイルを公開します。Swagger UIを使用してOpenAPI仕様を探索してください:

- パブリッククラウドホストのインスタンスのために: <https://bitwarden.com/help/api/>
- 自己ホスト型のインスタンスの場合: <https://your.domain.com/api/docs/>

📌 Note

Bitwarden公開APIへのアクセスは、すべてのエンタープライズおよびチーム組織の顧客に利用可能です。詳細については、[Bitwardenプランについて](#)をご覧ください。

エンドポイント

ベースURL

クラウドホスト用、<https://api.bitwarden.com> または <https://api.bitwarden.eu>。

自己ホスト型の場合、<https://your.domain.com/api>。

認証エンドポイント

クラウドホストの場合、<https://identity.bitwarden.com/connect/トークン> または <https://identity.bitwarden.eu/connect/トークン>。

自己ホスト型の場合、<https://your.domain.com/ID/connect/トークン>。

認証

APIは、保護されたAPIエンドポイントで認証するためにベアラーアクセストークンを使用します。Bitwardenは、エンドポイントからbearerアクセストークンを付与するために、OAuth2クライアント資格アプリケーションリクエストフローを使用します。認証リクエストは、必須パラメータとして`client_id`と`client_secret`を取ります。

💡 Tip

公開 API に認証するために使用される API キーは、**同じではありません** 個人の API キーと。組織APIキーは、形式が`client_id`で、"**組織.ClientId**"となります。一方、個人のAPIキーは、形式が`client_id`で、"**user.clientId**"となります。

APIキー`client_id`と`client_secret`は、所有者が管理者コンソールの保管庫にアクセスし、**設定**→**組織情報**画面に移動し、**APIキー**セクションまでスクロールダウンすることで取得できます。

Organization info

Organization name (required)
My Organization

Billing email (required)
orgowner@bitwarden.com

Business name

Your organization's fingerprint phrase: [🔗](#)
thus-thicket-neatness-tutor-suing

API Key

Your API key can be used to authenticate to the Bitwarden public API. [Learn more](#)

View API key Rotate API key

Collection management

組織のAPIキーを取得します

所有者として、APIキーを管理者や他のユーザーと共有したい場合は、[Bitwarden Send](#)のような安全な通信方法を使用してください。

⚠ Warning

あなたの組織のAPIキーは、あなたの組織への完全なアクセスを可能にします。あなたのAPIキーを秘密に保ってください。あなたのAPIキーが侵害されたと思われる場合、この画面で**設定>組織情報>APIキーをローテート**ボタンを選択してください。あなたの現在のAPIキーのアクティブな実装は、使用する前に新しいキーで再設定する必要があります。

ベアラーアクセストークン

Bearerアクセストークンを取得するには、**POST**リクエストを**Content-Type: application/x-www-form-urlencoded**で、あなたの**client_id**と**client_secret**を使用して**認証エンドポイント**に送信します。組織管理のためのAPIを使用するときは、常に**grant_type=client_credentials**と**scope=api.organization**を使用します。例えば：

Bash

```
curl -X POST \
  https://identity.bitwarden.com/connect/token \
  -H 'Content-Type: application/x-www-form-urlencoded' \
  -d 'grant_type=client_credentials&scope=api.organization&client_id=<ID>&client_secret=<SECRET>'
```

この要求は次の応答を引き起こします：

Bash

```
{
  "access_token": "<TOKEN>",
  "expires_in": 3600,
  "token_type": "Bearer"
}
```

このレスポンスでは、**3600**は有効期限の値（秒単位）を表し、これはこのトークンが発行されてから60分間有効であることを意味します。期限切れのトークンでAPI呼び出しを行うと、**401 Unauthorized** レスポンスコードが返されます。

コンテンツタイプ

Bitwarden 公開 API は、**application/json** のリクエストとレスポンスで通信しますが、一つ例外があります：

認証エンドポイントは**application/x-www-form-urlencoded**のリクエストを期待していますが、**application/json**で応答します。

サンプルリクエスト

Bash

```
curl -X GET \
  https://api.bitwarden.com/public/collections \
  -H 'Authorization: Bearer <TOKEN>'
```

は、取得した**ベアラーアクセストークン**の中で**access_token**:キーの値です。

この要求は応答を引き起こします：

Bash

```
{
  "object": "list",
  "data": [
    {
      "object": "event",
      "type": 1000,
      "itemId": "string",
      "collectionId": "string",
      "groupId": "string",
      "policyId": "string",
      "memberId": "string",
      "actingUserId": "string",
      "date": "2020-11-04T15:01:21.698Z",
      "device": 0,
      "ipAddress": "xxx.xx.xxx.x"
    }
  ],
  "continuationToken": "string"
}
```

状態

Bitwardenには公開ステータスページがあり、すべてのサービスのサービスヘルスとインシデントの情報、公開APIを含むことができます。

レスポンスコード

Bitwarden 公開 APIは、APIリクエストの成功または失敗を示すために、従来のHTTPレスポンスコードを使用します。

ステータスコード	説明
200 OK	すべてが予想通りに機能しました。
400 バッドリクエスト	要求は受け入れられませんでした。おそらく、欠落しているか形式が正しくないパラメーターが原因です。

ステータスコード	説明
401 認証が必要です	保有者のアクセストークンが不足している、無効である、または期限切れでした。
404 ページが見つかりません	要求されたリソースは存在しません。
429 リクエストが多すぎます	あまりにも多くのリクエストがAPIに高速でヒットしました。 リクエストの数値を減らすことをお勧めします。
500、502、503、504 サーバーエラー	Bitwardenの端で何かが間違っていました。これらは稀ですが、お問い合わせくださいもし発生した場合。

さらなる読み物

Bitwarden 公開 API の使用に関する詳細情報は、以下の記事をご覧ください:

- [Bitwarden 公開 API OAS 仕様](#)
- [イベントログ](#)